

## 第2学年 英語科学習指導案

### 1 単元 PROGRAM 5 「Gulliver's Travels」

#### 2 指導観

- 新学習指導要領では、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うことが目標に掲げられた。これは外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めること、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することにある。

また、最近では日本でもグローバル化が進んでおり、企業や大学においても実践的な英語力をもった人材の発掘、育成に力を入れだしている。すでに、英語力は必要だと考える環境が訪れているのが現実である。

本単元では、『ガリバー旅行記』を読んでいるマイクと由紀との会話、実は『ガリバー旅行記』は日本とも関わりがあるというウッド先生との会話を扱っている。「ガリバー」は日本でも童話や映画で公開されるなど、なじみのある題材である。また、セクション3では、観光名所やお祭りの紹介が扱われている。言語材料は、人や物の存在について述べる **There is [are]~** や接続詞 (**when, if**) などの表現を扱う。いずれの言語材料も、発信力を高めるのに大変重要であり、特にセクション3の生徒自身の身近な観光名所等を紹介する活動では、自国の文化を発信するという重要な活動となっている。これらの活動は、**My Project 5**での将来の夢を語る取組、**My Project 6**での自分の意見を述べる取組につなげていきたい。

- 本学級は、男子19名、女子17名で構成される。意欲をもってコミュニケーション活動等に取り組み、楽しみながら英語学習に取り組んでいる。1学期末にとったアンケートでは、「英語が好き・だいたい好き」と答えた生徒が約73%いるなど、英語の授業への関心が高い生徒が多い。これは1年時から取り組ませている**Q&A**を中心とした帯学習で、英語で話すことに対する苦手意識がなくなってきたことにあると思われる。しかし、1学期期末考査や**NS**との**Q&A**テストなどから、語彙力や文章構成力が足りない生徒や、長文を読んで質問に答える活動などを苦手としている生徒や、**Q&A**の活動でも、簡単な受け答えはできるが、会話を続ける、膨らませる力はまだまだついていない生徒が多いことがわかった。**Listening, Reading**の**Input Training**と**Speaking, Writing**の**Output Training**をバランスよく統合させながら取り組ませることで、上記の課題を解消していきたい。
- 指導にあたっては、まず、授業の最初に帯学習タイムを設け、**Q&A**の活動に取り組みさせる。ここでは、会話を続ける、膨らませることを意識させて活動に取り組みさせる。次に、単元の学習においては、絵や写真、歌など生徒の興味を引く題材を使って導入し、その後、生徒の「聞いて情報を集める」「集めた情報を英語で伝える」という活動を行っていくことで、4技能を統合しながらそれぞれの力をつけさせていく。また、本文題材については**Repeating, Shadowing, Slash Reading**を繰り返させることにより、リスニング力を高め、内容を理解させるようにする。最後に、自分の地域の観光名所や名物、お祭り等の紹介では、紹介の見本を示しながら「わかりやすい発表」のイメージをもたせ、各グループ内で紹介させる。**My Project 6**へつなげるため、それぞれが感想を言う活動を設定する。わかりやすい発表をさせることと、お互いに感想を述べ合うことで発信力を育成し、伝えたいという意欲を向上させることが期待される。また、**can-do list**を活用し、目標の設定・発信活動・振り返りというサイクルの中で生徒の発信への意欲を高めていきたい。

#### 3 目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 積極的に相手に自分のことを伝え、会話を膨らまそうとしている。</li><li>・ <b>There is ~. When ~. If ~.</b> を含む文を用いて、積極的に相手に伝えようとしている。</li></ul>
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>There is ~. When ~. If ~.</b> を含む文を用いて英文を書くことができる。</li><li>・ 紹介文を読んで感想や意見を英文で述べるができる。</li></ul>
外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本文の内容を正しく読み取ることができる。</li><li>・ <b>There is ~. When ~. If ~.</b> を含む文を聞き取ることができる。</li></ul>
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>There is ~. When ~. If ~.</b> を含む文の構造を理解している。</li></ul>

4 単元別指導・評価計画 第2学年 単元 PROGRAM 5 「Gulliver's Travels」 〈10時間〉

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準〈評価の方法〉	B の状況	A の状況
帯学習	1 ペアで Q&A を行う。 ・ A : Did you go anywhere last Sunday ? ・ B : Yes, I did. I went to Nagasaki.	・ 様相チェックをしながら支援が必要なペアに目を配る。	関：積極的に相手に自分のことを伝えるとともに、会話を膨らませようとしている。 (様相チェック)	・ 相づちや質問を入れたりして、会話を続けようとしている。	・ 相づちや質問に加えて意見や感想を入れたりして、会話を膨らませようとしている。
5	2 新しい表現を用いて、説明したり問答したりする。 (1) 人や物の存在について言う。 (2) いつ何をするのか説明する。 (3) 条件の内容について言う。 ・ <b>There is</b> a good Chinese restaurant near here. ・ <b>When</b> you called me, I was sleeping in bed. ・ <b>If</b> you go to Sydney, you should visit the Koala Park.	・ 新しい文型を理解させるために絵や写真、歌を用いる。 ・ 積極的に対話しようとする意欲を高めるために身近な話題を題材に使う。	表：There is ~. When ~. If ~. を含む文を用いて、英文を書くことができる (ペーパーテスト分析) ☆ 理：There is ~. When ~. If ~. を含む文を聞き取ることができる。 (ペーパーテスト分析) 言：There is ~. When ~. If ~. を含む文の構造を理解している。 (ペーパーテスト分析) 関：There is ~. When ~. If ~. を含む文を用いて積極的に相手に伝えようとしている。 (様相チェック)	・ ペーパーテストでの設問に 40%~79%答えることができる。 ☆：C の生徒への手だて 課題プリントを用意し、個別指導を行う。 ・ ペーパーテストでの設問に 40%~79%答えることができる。 ・ ペーパーテストでの設問に 40%~79%答えることができる。 ・ 例文を見ながら、説明したり、問答しようとしている。	・ ペーパーテストでの設問に 80%以上答えることができる。 ・ ペーパーテストでの設問に 80%以上答えることができる。 ・ 例文を見ないで、積極的に説明したり、問答しようとしている。
3	3 本文の内容について理解する。 (1) 新出語句の確認を行う。 (2) 教科書の本文を音読する。 (3) 内容についての Q&A に答える。 ・ マイクと由紀の対話 ・ ウッド先生とマイクの対話 ・ 観光名所や名物、お祭りの紹介	・ 内容理解させるために Repeating, Shadowing, Slash reading で何度も読ませる。	理：本文の内容を正しく読み取ることができる。 (プリント分析) ☆	・ 内容理解のプリントの質問に答えることができる。 ☆：C の生徒への手だて キーワードとなる部分を一緒に何度か読み、その後で繰り返し読み取る練習をさせる。	・ 内容理解のプリントすべての質問に正しく答えることができる。
2 (本時) 2/2	4 自分の住んでいるところの観光名所や名物、お祭りを紹介する。 (1) 紹介文を作る。 (2) 紹介文を発表する。 (3) 紹介文を聞いて(読んで)、感想や意見を言う(書く)。 例 If you come to Fukuoka in the summer, you should go and see Yamakasa. ....	・ 発表(プレゼン)の仕方を学ばせるために、発表の見本ビデオを提示する。 ・ 紹介文を聞いて、感想を言わせる(書かせる)ために例文を提示する。	表：紹介文を読んで感想や意見を英文で述べることができる。 (プリントチェックと分析) ☆★	・ 感想を英文で書くことができる。 ☆：C の生徒への手だて どのような感想をもったのかを確認し、どのように書けばよいか具体的に助言する。 ★：B の生徒への手だて 間違っているところを詳しく説明し、一緒に訂正していく。	・ 感想を正しい英文で書くことができる。

5 本 時 平成24年 月 日 ( ) (計画10/10)

(1) 本時の目標

- Q&A で、積極的に相手に自分のことを伝えるとともに、会話を膨らませようとしている。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 紹介文を読んで、感想や意見を英文で述べる。  
(外国語表現の能力)

(2) 本時の指導観

前時までに生徒は、接続詞 if を使って観光名所や名物、お祭りの紹介文を作成している。

本時は、その紹介文をわかりやすく発表させることで、聞いた(読んだ)内容について感想や意見を述べる(書く)力を育成することをねらいとする。まず、帯タイムでの Q&A 活動では、会話をつなげることを目標に取り組ませる。

次に、紹介文をわかりやすく発表させるため、NS が発表している見本ビデオを提示し、発表する際の注意点に気づかせるようにする。その後各班で紹介させる。その際、班員は英語で感想や意見を述べ、班での発表優秀者を決める。さらに、発表優秀者の紹介文を全員で読み合い、投票用紙に感想や意見を書かせてどの紹介文が気に入ったか投票させる。その後、投票で上位3位に入った生徒の発表を全体で紹介する場を設定する。この「情報を話す」「聞いた情報に感想や意見を言う」「情報を読む」「読んだ情報に感想や意見を書く」活動を通して、4技能を統合させながら発信力を育成させたい。

(3) 準備

- ① Q&A ワークシート
- ② パソコン
- ③ プロジェクター
- ④ スクリーン
- ⑤ 感想・意見表現例プリント
- ⑥ 紹介文
- ⑦ 投票用紙(感想・意見用紙)

## (4) 過程

学習活動・内容	準備	留意点 (☆教師の支援)	形態	配時分	評価規準 (評価方法)
1 Q&Aをする。 A : Did you go anywhere last Sunday? B : Yes, I did. I went to Nagasaki. A : Oh, did you? How was it? B : It was very nice.	①	・様相チェックしながら支援が必要なペアに目を配る。	ペア	5	関：積極的に相手に自分のことを伝えるとともに、会話を膨らませようとしている。 〈様相チェック〉
2 あいさつをする。		・生徒と簡単なQ&Aをする。	一斉	3	
3 本時のめあてを確認する。 観光名所や名物、お祭りをわかりやすく紹介しよう。					
(1) NSの観光名所紹介ビデオを見て発表する際の注意点を確認し、感想や意見を述べる表現練習をする。 ・ I think ~ because ~. 等	② ③ ④ ⑤	・発表する際の注意点に気づかせるようにする。 ・感想を言う(書く)ために例文を提示する。	一斉	5	
(2) 紹介文の発表練習をする。 ・ If you go to Fukuoka in the summer, you should go and see Yamakasa. ...	⑥		個	5	
(3) 班 (4人班) で紹介する。紹介が終わった後、1人1人感想や意見を言う。各班で優秀発表者を決める。 ・ I like ~ because ~. 等 ・ Who is the best speaker ?	⑥ ⑤	☆支援が必要な生徒には発表の援助を行う。	班	10	
(4) 各班で決めた優秀発表者の紹介文を全員が読み合い、気に入った紹介文の感想や意見を書いて投票する。 ・ I was moved by ~ because ~. 等	⑥ ⑦ ⑥	☆支援が必要な生徒にはどのような感想をもったのかを確認し、どのように書けばよいのか具体的に助言する。	個	15	表：紹介文を読んで、感想や意見を書くことができる。 〈プリント分析〉
(5) 投票の上位3名は全体を前に紹介文を発表する。 ・ If you come to Fukuoka, go to Fukuoka Dome. ...		☆NSの観光名所紹介ビデオのように声の大きさや豊かな表情に留意し発表するように促す。	一斉	5	
4 本時のまとめをする。			一斉	2	